

アジア政経学会 2007年度第4回理事会 議事録

1. 日時 2007年9月1日(土) 15:00~17:00
2. 会場 霞山会館 9階 さつきの間(千代田区霞ヶ関3-2-4)
3. 理事総数 24名
4. 出席者 8名(加藤・国分・澤田・末廣・高橋・高原・武田・山本)
(+監事:石井)(+全国大会実行委員長:滝口)
5. 委任状提出者 10名
6. 出席者合計 18名
7. 議長 国分理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、国分理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・高橋理事より本日の出席者は20名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2007年7月7日)理事会議事録の確認を行った。

議案1 本年度全国大会(10月13、14日 於:東京女子大学)の準備状況について
大会実行委員長である滝口会員より報告・説明が行われた。主にプログラム案の討議が行われ、承認された。

議案2 新評議員の選出について

①高橋理事(総務担当)より、投票の集計結果について以下の説明が行われた。

- * 8月20日に投票締め切り。8月30日、慶應義塾大学において、竹中千春特任理事を開票立会人にたてて開票を実施した。
- * 選挙人数603名、被選挙人候補者数546名、投票者総数244名、有効投票人数229名、有効投票数3922票。投票率は40.5%。
- * 16票以上獲得の被選挙人の名簿と属性に関する一覧を配付した。

②評議員候補者44名の選出の基本方針

- * 基本方針については、①年齢配分に注意する。②専門性のバランスを考慮する。③地域配分のバランスを考慮する。④女性、外国人を重視する。⑤学会に対する貢献度を考慮する。
- * 次点について:評議員候補者の辞退を念頭において、5名の次点候補者を決定し、順位付けを行う。

議案3 会員名簿の改訂について

高橋理事より、名簿作成について、国内会員 1219 名、海外会員 23 名、新会員 9 名の計 1251 名に名簿作成の調査票を発送し、684 名分が回収され、10 月に会員に送付できる見通しであるとの報告が行われた。

議案4 『アジア研究』の編集状況について

武田理事（編集担当）より、以下 2 点の報告・説明が行われた。

①『アジア研究』第 53 巻第 4 号について、掲載内容詳細の報告が行われた。

②投稿要領に対する会員からのクレーム処理についての報告が行われた。

議案5 ニュースレターの編集、およびホームページの改訂について

山本理事（広報担当）より、以下 4 点の報告・説明が行われた。

①2007 年 7 月末日、ニュースレター 28 号を発行。

②9 月 1 日、ニュースレター 28 号を学会 HP へアップ。

③ニュースレター 29 号の記事構成案について。

④HP の契約について、HP 関連業務の他業者への移管が難しく、紀伊国屋からの請求額も妥当であるという判断から、紀伊国屋と一年ごとの契約をするとの契約書を交わしたとの報告が行われた。

議案6 本年度優秀論文賞について

「アジア政経学会優秀論文賞」選考委員長の石井監事より、選考対象論文についての説明・報告が行われた。

議案7 『現代アジア研究』編集状況について

国分理事長より、『現代アジア研究』全 3 巻の編集状況についての報告が行われた。

議案8 入・退会者について

以下の新入会希望者 10 名、退会者 10 名、休会者 1 名についての承認が行われた。

<新入会> 高安 健一 西野 勝明 鈴木 仁麗 蔣 崢 小柳 佑太 本田 松雄
張 健 金子 勝規 李 相沄 付 波

<退 会> Maung Maung Lwin 沈 洪 勝原 健 櫻井 浩 菊池 公男 塚本 元
林 一信 斉藤 一夫 新井 邦子 吉葉 恭行

<休 会> 青木 寅男

その他の議案

- ①高橋理事（総務担当）より、都税事務所から今年度の免税決定通知書が届いた旨報告があった。
- ②次回理事会は2007年10月13日（土）12：30より、東京女子大学にて開催予定である。

以 上

国分議長が午後17時00分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成19年9月1日

財団法人アジア政経学会

議長

国分良成



議事録署名人

高橋伸夫



議事録署名人

山本信人

